

IV 本人の想いを共有した証を残しましょう(P14-15)

1 本人の気持ちを共有できた人は、P14 にサインしましょう

- ・人生会議手帳2を読んだ人、本人の想いを共有された方は、それぞれ該当欄にサインをしましょう。
- ・サインは、想いをサポートする人たちがいることを実感させ、本人や家族等の安心につながるでしょう。
- ・医療・ケアチームとして誰が関わっているのかを知ることができるので、医療・ケアチームの相互の連携強化につなげていきましょう。
- ・手帳は、一度読めば、本人の気持ちを共有できた、というものではありません。気持ちが変わることは当然のことです。何度でも、本人、家族等、医療・ケアチームで話し合いを重ねていくことが重要です。本人の想いを中心として、家族等、医療者間のコミュニケーションを促進するためのツールとして活用してもらえことを願っています。

2 MEMO 欄は自由に活用しましょう。

- ・例えば、思い出の写真など本人らしさが伝わる写真を貼るのもよいでしょう。
- ・追加で A4 用紙を挟み込んでファイル化してもよいです。「〇〇さん(本人)」オンリーワンの手帳をつくるのもよいかもしれません。

あなたに関する情報(P16-17)

- ・かかりつけ医の情報は、救急搬送の依頼があった場合に、第一連絡先となるため重要です。記載しているかどうかを確認しましょう。
- ・そのほか、緊急連絡先や関わっている人たちの連絡先も重要です、確認しておきましょう。

令和7年9月

地域包括ケアシステム推進連絡会 ACP 部会

事務局：浜松市健康福祉部高齢者福祉課